

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 9日

公表: 令和 6年 3月 12日

事業所名 エガリテSC

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準の要件を満たしている	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝スタッフ会議で利用者の情報や業務改善に努めている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部の研修や区の連絡協議会に参加し交流を図り、評価を経ている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修や外部研修の参加を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的なモニタリング他、送迎時等に保護者の方や学校の先生から家庭や学校での様子を聞き取りしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		スタッフ研修や資料をとおして、共有をはかっている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で話し合いながら、児童全員が参加できるようにプログラムの作成を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		メインのプログラム立案者を持ち回りにして、それぞれのアイデアが反映されるように工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日、長期休暇に応じてプログラムを変更したり、定期的にイベントを行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個別のサポートが必要な子や環境の変化があった子の共有のほか、活動移行時の準備担当などを予め確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援の記録を掲載し情報を共有できるようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要に応じてまたは6ヶ月に1度モニタリングを行い、会議で検討を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校や保護者とこまめの連絡をとり、その都度確認を行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状は該当者なしだが、今後迅速に対応できるようマニュアルやシートの作成の体制を整えていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		要望があった際に迅速に対応できるような体制を整えていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		交流試合やイベント等で交流を深めている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		会議があるときには参加をしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時のコミュニケーションや活動報告書のほか、LINEで気軽に連絡がとれる体制を整えている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		現時点では開催がないので、準備を進めていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明すると共に運営規定の掲載をしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、保護者向けの講演会や研修を通して保護者同士の交流を図っていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		マニュアルを設け、起こった際に迅速に対応できるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		紙面やLINE、Instagram、HPにて活動概要や行事予定を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの保管庫に保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、イベントなどを行い、交流を図っていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震、火事等の避難訓練を定期的に行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在そのような事例はないが、マニュアルを準備し迅速に対応できるようにしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントシートの作成のほか、発作時の対応フローチャートの作成など、情報の共有を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		スタッフ会議で、共有し改善に努めている